

## 次のステージ

そろそろ外に出てもいいかな  
上の子中学生 少し安心  
紅葉(もみじ)の下でつぶやいた  
いつものお店で見つけた  
手書きパート募集のチラシが  
何だか光って見えた  
きっと私にもできるはず  
きっと私にもできるはず

履歴書 書くのは何年ぶりだろ  
汗ばむ指先 パソコン向かう  
親切そうな店長さん  
のどかに面接進んだ  
「私いけるかも」その時  
“私の障害について”  
のどかな空気 変わったの  
ああ 普通なら良かったのに

「あれ こちらは何かですか？  
障害あるなら ごめんなさい」  
もう それだけで終わりなの？  
ただ それだけで終わりなの？  
履歴じゃなくて障害で？  
人柄じゃなく障害で？  
希望の紅葉(もみじ)はらはらと  
音もなく散っていった

ハローワーク おそろおそろ行ったのは  
桜の蕾(つぼみ)が色づく頃  
ひしめく一般窓口と  
静かな障がい者窓口  
違いに戸惑うけど それでも  
待ち時間なくてラッキー  
「では ここなんてどうですか」  
道 まっすぐに照らされた

初めて聞いたその名前は  
A型事業所 A型事業所

就職のための通過点  
家から近くの弁当屋  
正直ドキドキはしぼんだ  
家でも作ってる 毎日  
いやでもここ 途中駅  
次行けるならそれでいっか

なんて居心地いいところ！  
毎日している作業でも  
人 居場所とが変わるだけ  
もうぼかぼかと温かい  
いつも行く場所あるなんて  
嬉しい 顔がほころぶの  
誰かの役に立てている  
その実感で花が咲く

ありのままの私でいい  
心からそう思えた  
失敗しても失敗しても  
次はできると信じてもらえる幸せ  
楽な道じゃないけれど  
普通じゃ見えない景色がある  
落ち込む日も迷う日も  
きっと意味はある  
切ない気持ちに寄り添える  
そんな人になれる  
自分の生き方を全部全部  
ギュッとして生きよう  
きっと居場所は見つかる  
目指すのは次のステージ